



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538

URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 真部 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長兼総務広報部長 (氏名) 小田 幸一

TEL 06-6469-3000

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	102,011	3.8	219	0.5	309	6.8	193	—
25年3月期第3四半期	98,306	△5.5	218	10.1	289	1.1	△514	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 357百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △482百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	14.12	—
25年3月期第3四半期	△37.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	27,240	4,411	16.2
25年3月期	19,313	4,053	21.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,411百万円 25年3月期 4,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の配当の見直しにつきましては、期末配当は未定とさせていただきます。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	2.4	270	9.8	340	△4.4	250	—	18.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	13,774,819 株	25年3月期	13,774,819 株
26年3月期3Q	43,811 株	25年3月期	40,605 株
26年3月期3Q	13,732,086 株	25年3月期3Q	13,735,445 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安基調を背景に輸出関連企業を中心として景況感の改善が見られた他、雇用や所得環境にも改善の傾向が見られる等、緩やかながら景気回復の動きが見られるようになりました。

当水産流通業界におきましては、国際競争の激化や円安の影響等により全般に仕入価格が上昇した一方で、消費の本格的な回復には至っておらず、荷動きが低調に推移しました。また、卸売市場経由率が低下傾向にあるなか市場外流通事業者との競争が続く等、厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,020億11百万円（前年同期比3.8%増）となり、利益面では営業利益2億19百万円（前年同期比0.5%増）、経常利益3億9百万円（前年同期比6.8%増）、四半期純利益1億93百万円（前年同期は5億14百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

水産物販売事業は、鮮魚が順調に推移し、また新設子会社（株式会社大分水産）の寄与もあり、売上高は1,018億74百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は3億7百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

冷蔵倉庫等事業は、在庫量の減少等により売上高は2億1百万円（前年同期比1.9%減）となりましたが、販売費及び一般管理費を削減したことにより、営業利益は9百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べて79億26百万円増加し、272億40百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が58億38百万円、商品及び製品が10億93百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて75億69百万円増加し、228億29百万円となりました。これは短期借入金が36億90百万円、支払手形及び買掛金が27億53百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べて3億57百万円増加し、44億11百万円となりました。これは四半期純利益を1億93百万円計上するとともに、その他有価証券評価差額金が1億63百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日付の「平成25年3月期 決算短信」にて公表いたしました予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,243	2,321
受取手形及び売掛金	9,835	15,674
有価証券	43	44
商品及び製品	1,390	2,484
繰延税金資産	70	23
その他	152	377
貸倒引当金	△76	△107
流動資産合計	13,661	20,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	766	722
土地	2,410	2,410
その他（純額）	192	210
有形固定資産合計	3,369	3,343
無形固定資産	228	778
投資その他の資産		
投資有価証券	1,939	2,151
長期貸付金	295	292
破産更生債権等	1,852	763
固定化営業債権	883	877
繰延税金資産	25	25
その他	57	96
貸倒引当金	△3,000	△1,905
投資その他の資産合計	2,054	2,300
固定資産合計	5,652	6,422
資産合計	19,313	27,240

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,723	10,477
短期借入金	3,000	6,690
1年内返済予定の長期借入金	—	83
未払金	477	1,220
未払法人税等	85	27
賞与引当金	136	41
その他	262	307
流動負債合計	11,685	18,847
固定負債		
長期借入金	—	417
退職給付引当金	2,608	2,460
役員退職慰労引当金	131	149
再評価に係る繰延税金負債	303	303
繰延税金負債	129	254
その他	400	396
固定負債合計	3,573	3,981
負債合計	15,259	22,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	2,012	497
利益剰余金	△926	782
自己株式	△18	△18
株主資本合計	3,420	3,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	438	601
土地再評価差額金	195	195
その他の包括利益累計額合計	633	797
純資産合計	4,053	4,411
負債純資産合計	19,313	27,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	98,306	102,011
売上原価	93,478	97,017
売上総利益	4,828	4,993
販売費及び一般管理費	4,609	4,773
営業利益	218	219
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	53	42
受取賃貸料	100	100
天然ガス売却額	54	56
その他	14	40
営業外収益合計	224	241
営業外費用		
支払利息	43	35
賃貸費用	51	53
天然ガス売却原価	56	56
その他	2	6
営業外費用合計	153	152
経常利益	289	309
特別利益		
投資有価証券売却益	38	46
特別利益合計	38	46
特別損失		
投資有価証券評価損	78	0
投資有価証券売却損	29	1
固定資産除却損	—	14
減損損失	627	—
その他	4	—
特別損失合計	740	17
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△411	339
法人税、住民税及び事業税	85	57
法人税等調整額	17	87
法人税等合計	102	145
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△514	193
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△514	193

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△514	193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	163
土地再評価差額金	△3	—
その他の包括利益合計	31	163
四半期包括利益	△482	357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△482	357
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

当第3四半期連結累計期間において、土地の再評価に関する法律(平成10年3月31日公布法律第34号)による再評価を行った土地について減損損失を計上し、当該土地にかかる土地再評価差額金の取崩を行いました。この影響により利益剰余金が1,035百万円減少いたしました。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社は平成25年5月15日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づく定款の定めにより、下記のとおり資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分について決議しました。

1. 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

繰越利益剰余金の欠損を填補し、今後の資本政策の柔軟性と機動性を確保することを目的として、資本準備金並びに利益準備金の額を減少し、剰余金の処分を行いました。

2. 資本準備金及び利益準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の一部及び利益準備金の全額を減少させ、それぞれその他資本剰余金及び繰越利益剰余金に振り替えました。

(1) 減少する準備金の項目及び額

資本準備金 2,012,649,694円のうち 1,515,233,882円

利益準備金 340,000,000円のうち 340,000,000円(全額)

(2) 増加する剰余金の項目及び額

その他資本剰余金 1,515,233,882円

繰越利益剰余金 340,000,000円

(3) 効力発生日

平成25年5月15日

3. 剰余金の処分の要領

上記振り替えの後、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金及び別途積立金の全額を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えることにより、同額の欠損填補に充当しました。

(1) 減少する剰余金の項目及び額

その他資本剰余金 1,515,233,882円

別途積立金 5,685,290,458円

(2) 増加する剰余金の項目及び額

繰越利益剰余金 7,200,524,340円

(3) 効力発生日

平成25年5月15日

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	98,169	137	98,306	—	98,306
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	67	67	△67	—
計	98,169	205	98,374	△67	98,306
セグメント利益	301	8	309	△90	218

(注)1. セグメント利益の調整額△90百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業において、627百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	101,874	136	102,011	—	102,011
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	65	65	△65	—
計	101,874	201	102,076	△65	102,011
セグメント利益	307	9	317	△97	219

(注)1. セグメント利益の調整額△97百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結累計期間から、報告セグメントとしていなかった冷蔵倉庫等事業について重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。